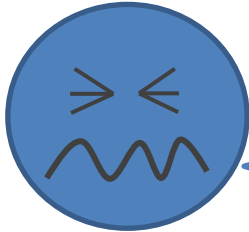


児童の願い

友達と仲良く力を合わせて活動できるようになりたい



〈本人の困り感、思い〉

- ・ 友達と仲良く活動したいのにうまくいかない。
- ・ 勝ち負けにこだわってしまう。
- ・ 思うようにいかないとイライラしてしまう。

☆児童との対話、児童の思い

- ・ 一人で活動するより友達と一緒に活動するほうが楽しい。
- ・ 夢中になると友達の気持ちを考える余裕がなくなってしまう。
- ・ 友達を増やして楽しい学校生活を送りたい。



☆手立て

【“学校向けチームビルディング” ゲームを定期的に実施】

「学校向け」とは、チームビルディングの難易度を児童の実態に合わせて調整したという意味

ねらい

- ・ 互いに尊重し合うことのよさを味わえるようにする。(表情・言葉・行動)
- ※ 勝者には「おめでとう」、敗者には「ありがとう」の言葉を伝える。

工夫

- ・ 対象児童の興味・関心に応じた活動をバリエーション豊富に準備する。
- ・ 活動の目標を確認するとともに振り返りを行い、自己評価や相互評価を次の活動に生かす。
- ・ 本授業以外での個や集団への言葉掛けを丁寧に行い、心の成長を促す。

具体例

ペーパータワー（紙とセロテープだけを使用してタワーを作り、高さを競う）

積み木タワー（積み木の組み立て方を工夫して積み上げ、高さを競う）

共同絵画（1枚の画用紙に順番で少しずつ絵を描き加え、テーマ性のある作品を作る）など

支援を受けてみて

- ・ 活動の時間が楽しみになった。(本人)
- ・ ゲーム以外の生活場面で「おめでとう」「ありがとう」という言葉が増え、笑顔が増えた。(保護者)